

「有限会社アートンは今年で創業38年」

ARTON

(有)アートン

TEL 0466-48-8488

〒252-0821
神奈川県藤沢市用田 211-4
E-mail: arton.event@gmail.com
URL: https://www.arton.events

各種展覧会の企画から運営まで裏方としてすべての業務をお受けいたします。

緑縁・張りキャンバス販売もしております。どうぞお気軽にご相談ください。

横浜市・神奈川県登録業者

美術教材・画材・販売

金子教材

展覧会等 絵画の搬入・搬出 承ります。
お気軽にご相談ください。

〒244-0815
横浜市戸塚区下倉田町 755
TEL 070-5576-2564
FAX 045-871-5171

黄鶴堂

JAPANESE TRADITION

黄鶴堂は、絵具屋三吉が運営する日本画材専門店です。

横浜市市民ギャラリー展覧会スケジュール

2025年10月～ 2026年1月

※2025年6月15日時点での情報です。主催者の都合により
情報が変更されることがあります。

10月October

主催 新・今日の作家展2025「穿ちの表象」 [B1F/1F]
9/13～10/6 10:00～18:00(入場は17:30まで)
毎年テーマを設け同時代の表現を紹介、考察する「新・今日の作家展」。物事の本質をえとらえようと鋭い視点で見ることを目指す「穿つ」をテーマに、畑山太志、早川祐太、松原茉莉の作品を展示
主催:横浜市市民ギャラリー

春陽会 神奈川研究会展 [3F/2F]
10/1～10/6 10:00～17:00 ※最終日～14:00
各人主義の制作をモットーに、活動している意欲ある研究会展
主催:春陽会 神奈川研究会

第5回 外苑キャンパス展 [3F]
10/7～10/13 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～15:00
京都芸術大学通信教育部卒業生による油彩画グループ展
主催:GAL2018

「第21回 国際水墨芸術展」 [2F]
併催「国際芸術家展yokohama2025」
10/8～10/13 10:00～18:00 ※最終日～15:00
主に日本と中国の水墨画、書および油彩等の作品を展示
主催:日中水墨協会

Abox展 2025 [3F/B1F]
10/16～10/19 10:00～18:00 ※最終日～16:00
写真の概念にとらわれない、気鋭の集団によるグループ展
主催:Abox Photo Academy

第37回「鎌倉・横浜スケッチ会 秋季展」 [2F]
10/14～10/19 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00
国内外の現場で描いた風景スケッチ(水彩)約250点を展示
主催:鎌倉・横浜スケッチ会

第39回 港の作家小品展 [1F]
10/15～10/19 10:00～17:00 ※最終日～15:00
7月開催第64回港の作家展本展大作品展に続く30号以下の作品展
主催:港の作家美術協会

第18回え塾展 [3F]
10/21～10/26 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00
社会人向け絵画教室「え塾」による展示。油彩・水彩等200点
主催:横浜美術学院/え塾

第27回 華の墨絵会展 [2FA]
10/21～10/27 10:00～16:00 ※初日13:00～
水墨画作品60点、掛軸、額装 季節の花や風景をお楽しみください
主催:華の墨絵会

PHOTO PAL CLUB 第4回写真展 [2FB]
10/21～10/27 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00
熊切大輔氏の指導の下、17名が夫々のテーマを写真5点程で表現
主催:PHOTO PAL CLUB

第26回 浄雲会 佛像彫刻展 [1F]
10/22～10/27 10:00～17:00 ※初日12:00～、最終日～15:00
講師と14教室生徒作品による100点を超える佛像彫刻展
主催:浄雲会

第37回 雨聲会 横浜書展 [B1F]
10/22～10/26 10:00～18:00
子供の半紙作品や、淡墨を中心とした一般の書道作品を展示
主催:雨聲会 横浜支部

第81回ハマ展 [全室]
10/29～11/9 10:00～17:00
洋画、日本画、彫刻立体、写真4部門の会員会友及び一般公募作品
主催:横浜美術協会

11月November

第64回 神奈川旺玄展 [全室]
11/11～11/16 10:00～17:00 ※初日14:00～、最終日～15:00
旺玄会神奈川支部員及び一般公募による絵画作品180点の展示
主催:一般社団法人 旺玄会 神奈川支部

2025(第70回)全神奈川写真サロン公募展 [3F]
11/19～11/24 10:00～17:00 ※最終日～15:00
神奈川県下最大規模の歴史ある公募写真展、入賞作品100点
主催:全日本写真連盟 神奈川県本部

第55回 公募文化書道神奈川県連合会書道展 [2F]
11/20～11/23 10:00～17:00
県内の社会人、学童による書道展、小品も含めて130点
主催:文化書道神奈川県連合会

2026 第68回

二科

主催:二科 神奈川支部

神奈川支部展

会期:2026年6月3日(水)～6月8日(月) 午前10時～午後6時(最終日午後3時終了)
会場:横浜市市民ギャラリー (地下1階～3階)
作品公募:事前届締切 2026年5月2日(土) 搬入日 2026年5月30日(土)
●応募資格 神奈川県内に在住、在勤、在学する中学生以上の方 ※学生部門無料
●作品内容 絵画、出品点数2点以内(サイズ520号以上F100号まで)、出品料(1点5,000円、2点6,000円)
●連絡先 二科神奈川支部事務局 渡邊 仁美 TEL:045-435-0788

出品要項は
こちら↓

黄鶴堂

JAPANESE TRADITION

黄鶴堂は、絵具屋三吉が運営する日本画材専門店です。

Art School+Yokohama Student Exhibition. [1F]
No.12
11/19～11/24 10:00～18:00 ※最終日～16:00
アートスクール横浜に通う生徒の絵画作品展示発表会
主催:株式会社雪下堂美術(アートスクール横浜)

芸術横浜市民ギャラリー-U35若手芸術家支援事業[B1F]
飯山太陽展 横浜
11/20～12/1 10:00～18:00 ※最終日～14:00
ワクワクを大切に独学で自由に制作した絵や立体作品50点
主催:飯山太陽
共催:横浜市市民ギャラリー

第3回 美・QU展 [2FA]
11/25～11/30 11:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00
人物、風景、静物、仏像の油彩、水彩、日本画、立体約60点
主催:美・QU会

2025 光面塾写真展 Monolog [2FB]
11/25～12/1 10:00～17:00 ※初日14:00～、最終日～15:00
全日本写真連盟の所属作家が個展形式でそれぞれの世界観を表現
主催:光面塾

12月December

第64回 神奈川県女流美術家協会展 [全室]
12/3～12/8 10:00～17:30 ※最終日～15:00
女性対象の公募展。油彩、水彩、立体等約200点を展示
主催:神奈川県女流美術家協会

令和7年度 神奈川県高等学校総合文化祭 [全室]
第62回高等学校書道展
12/10～12/14 10:00～18:00 ※最終日～16:00
神奈川県内の高校へ通学する高校生の書作品約800点を展示
主催:神奈川県高等学校文化連盟 書道専門部会

横浜三大学連合写真展 [3F]
12/17～12/22 10:00～18:00 ※最終日～15:00
神奈川大学×関東学院大学×横浜国立大学 合同展示会
主催:横浜三大学写真連合

第52回 高校生写真展 [2F]
12/17～12/21 10:00～18:00 ※最終日～14:00
県内の高校写真部生徒が出席するパネル贴りにした写真作品展
主催:神奈川県高等学校写真連盟

横浜美術大学 助手・副手展 [B1F/1F]
12/17～12/21 10:00～18:00 ※最終日～17:00
横浜美術大学の助手、副手によるグループ展
主催:横浜美術大学 助手・副手

橘学院高等学校デザイン美術コース [3F]
第20期卒業作品展
12/24～12/26 10:00～18:00 ※最終日～14:00
橘学院高等学校デザイン美術コース3年生による「卒業作品展」
主催:橘学院高等学校デザイン美術コース

1月January

第47回 芳林書展 [3F/2F/1F]
1/7～1/11 10:00～18:00 ※最終日～16:00
「心新たに挑もう」をテーマに漢字・かな・詩文書で多彩に表現
主催:芳林書道院

SDGs持続可能な写真アート展 [B1F]
「二十四節気シリーズ・冬」
1/7～1/11 10:00～18:00 ※最終日～14:00
SDGs持続可能な写真アート展「二十四節気シリーズ・冬」
主催:一般社団法人 SDGs写真アート協会

令和7年度 横浜市立学校総合文化祭 [全室]
小学校児童書写展・中学校書写展
1/14～1/18 10:00～17:00
横浜市立学校等の児童生徒が平素学習した書写作品を一同に展示
主催:横浜市教育委員会 学校教育部 学校経営支援課

令和7年度 横浜市立学校総合文化祭 [全室]
図画工作・美術・書道作品展
1/21～1/25 10:00～18:00
横浜市立小、中、高、特別支援学校の児童生徒による作品展
主催:横浜市教育委員会事務局 学校教育部 学校経営支援課

横浜美術友の会 2025年度受講生作品展 [3F/1F/B1F]
1/28～2/2 10:00～17:00 ※最終日～14:00
絵画教室25クラスの受講生作品350点を展示
主催:特定非営利活動法人 横浜美術友の会

神奈川県高等学校定時制通信制生徒作品展 [2F]
1/30～2/2 10:00～18:00 ※最終日～14:00
神奈川県高等学校定時制通信制の生徒による作品展
主催:神奈川県高等学校定通教育振興会

2026年
第48回

神奈美公募展

2026年4月8日(水)～13日(月) 10:00～17:00 (最終日16:00まで)

[会場] 横浜市市民ギャラリー 1階・2階・3階 展示室

[応募作品] 油彩、水彩、アクリル、日本画、ミクストメディア、墨絵、パステル、和紙画、版画、染・織、陶芸、ガラス工芸、創作人形、等 [応募資格] 15歳以上

[出品料] 3点まで5,000円、4点以上の場合、1点増すごとに1,000円加算。学生、身障者は3点まで2,500円、4点以上の場合、1点増すごとに500円加算。受付の時、学生証、身障者手帳を提出(コピー可)。

[搬入] 2026年4月 5日(日) 10:30～14:00 横浜市市民ギャラリー1階 搬入口

[ギャラリートーク] 2026年4月13日(月) 11:00から会場にて 美術評論家 清水康友氏

[搬出] 2026年4月13日(月) 16:00～17:00 (時間厳守)

[授賞] 優秀作品には、神奈川美術協会賞、神奈川県知事賞、横浜市長賞等を授与。

神奈川美術協会 事務局 〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和 3-2-11 山本勝彦方
携帯 TEL 090-3104-9371 http://kanabi.on.coocan.jp

2025 年度

絵画教室

2025 年度の空きクラスを追加募集中

お問い合わせ、お申し込みは、電話、メールで

NPO法人横浜美術友の会

〒231-0062 横浜市中区桜木町2-2 港陽ビル6階
TEL 045-651-9313 FAX 045-323-9841
ホームページ https://yokobitomo.com/
メールアドレス yokobitomonokai@orion.ocn.ne.jp

報告

U35若手芸術家支援事業「ー・・」(チョー・タン・タン)主催:濱本奏を開催
会期:2025年8月5日(火)～8月11日(月・祝) 会場:展示室B1F

35歳以下の将来を担う作家に対する発表の場を提供する「U35若手芸術家支援事業」として、主催:濱本奏「ー・・」(チョー・タン・タン)を開催しました。第二次世界大戦の終戦間近、横須賀市野比海岸で秘密裏に結成され、海中で訓練が行われていた特攻隊「伏龍」に関してリサーチを行い、横須賀市内で撮影した写真・フィールドレコーディングで集めた音・日記・ガラス製のパイを展示し、壁面には波紋を写し出しました。かつての出来事と現在をつなぐ意義深い展覧会となりました。

【濱本 奏 (HAMAMOTO Kanade)】
2000年神奈川県生まれ。人やものや土地が持つ「記憶」を主なテーマに、壊れたカメラを用いた撮影方法やミクストメディア的な手法を導入して制作をおこなう。主な展覧会に「Heimat loss」(福島県南相馬市教育委員会主催 アーティストインレジデンス「群青小高」、2021年)
https://kanadehamamoto.com/

予告

横浜・紅葉ヶ丘まいらん スタンプラリー&街歩き

“スタンプラリー” 5つの公立文化施設等を巡るスタンプラリー

2026年1月31日(土)～2月15日(日) 予定
参加費:無料
*スタンプをすべて集めてご応募いただくと、抽選で賞品を贈呈します。

“まいらんさんぽ” 5館を巡るウォーキング

2025年12月4日(木) 予定
申込方法:横浜シティガイド協会ホームページから、10月14日受付開始予定。

「まいらん」とは、紅葉ヶ丘に立地する【神奈川県立音楽堂 (Music Hall)、神奈川県立青少年センター (Youth Center)、神奈川県立図書館 (Library)、横浜市市民ギャラリー (Art Gallery)、横浜能楽堂 (Noh Theater)】の頭文字をあわせた「MYLAN」をひらがなで表したものです。

催し物
ピックアップ

横浜美術館

最寄駅:みなとみらい線「みなとみらい駅」JR「桜木町駅」

横浜美術館リニューアルオープン記念展 いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年

2025年12月6日(土)～2026年3月22日(日)
10時～18時(入館は17時30分まで) 休館日:木曜、年末年始
地理的にも文化的にも近い他者として、長い歴史を歩んできた日本と韓国。その中でも、1945年以降今日に至るまでの美術は、どのような関係にあったのでしょうか。1965年の日韓国交正常化から60年となる節目に合わせ、韓国国立現代美術館との共同企画により、日韓現代美術の関係史を紐解きます。
[お問合せ] 横浜美術館 〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1
TEL 045-221-0300 FAX 045-221-0317 https://yokohama.art.museum/

催し物
ピックアップ

横浜市民ギャラリーあざみ野

最寄駅:東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」

あざみ野コンテンポラリー vol.16 庄司朝美「トビシより愛を込めて」

2025年10月11日(土)～11月3日(月・祝)
11:00～18:00 休館日:10/27(月)

画家・庄司朝美が2022年から1年にわたるジョージア各地での滞在を経て制作した、約80点の作品群による成果発表。かつて旧ソ連構成国の一つだったコーカサス地方の国ジョージアで、画家が真摯に見つめた、国家、人種、民族、アイデンティティ、人々の日常生活の断片を、旅するように巡りながらご覧ください。

[お問合せ] 横浜市民ギャラリーあざみ野 〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3
アートフォーラムあざみ野内 TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674 https://artazamino.jp/

横浜市民ギャラリーの総合情報誌

2025年10月～2026年1月

ART YOKOHAMA

Yokohama Civic Art Gallery
Art News Magazine
Oct 2025 - Jan 2026

アート
ヨコハマ

84

特集 新・今日の作家展2025 穿ちの表象

New "Artists Today" Exhibition 2025
Look Beyond What We See

畑山太志「光は変化する記憶」2025年 キャンバス、アクリル 116.7×91.0cm

このパンフレットは、カーボンオフセットにより制作に伴うCO₂排出をゼロにしています。
オフセットクレジットの提供者:アズビル株式会社

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
横浜市民ギャラリー

開催 新・今日の作家展2025 穿ちの表象

New "Artists Today" Exhibition 2025 Look Beyond What We See

畑山太志 HATAYAMA Taishi
早川祐太 HAYAKAWA Yuta
松原茉莉 MATSUBARA Mari

「新・今日の作家展」は、1964年の開館以来、横浜市民ギャラリーが40年にわたって開催した「今日の作家展」を継承し、同時代の表現を紹介、考察する展覧会です。今回は穴をあける、物事の本質や人情の機微に巧みに触れるという意味を持つ「穿つ」をキーワードに、眼前や周囲にある物事をよく見ることから発したテーマを各自の視点と手法で掘り下げ、表現を展開する作家を紹介します。

畑山太志は、自身が「素知覚（そちかく）」と呼ぶ、空気感や存在感や気配などを感じ取る、身体が本来的に持っているはずの知覚を手がかりに、「知覚の外にあるものにどう触れ、捉えるか」をキーワードに絵画を描いています。早川祐太は、「人間はどのように世界に存在しているのか」という問いを起点に、約10年前に患った難病のためより意識的になったという身体感覚をもとに、重力や空気、表面張力などさまざまなものの性質、現象を取り入れ、彫刻やそれらを構成したインスタレーションを発表しています。松原茉莉は写真領域が持つ環世界ーすべての生物は各々の知覚によって世界を理解し構築しているという世界観ーの存在に着目し、写真を水に溶かし、インクとパルプへと還元する独自の手法で制作を行っています。現代社会では多くの物や情報が私たちを取り巻いています。出品作家らが着目する対象は必ずしも見えやすいものではありませんが、私たち自身も含む存在の探求にもとづくユニークな作品は、鑑賞する人々に自身が数多のものと共存していることや忘れていた感覚を思い起こさせ、日常における新たな視点や、支点の獲得を促すことでしょう。



畑山太志 《明るさの精度》2025年 キャンバス、アクリル 53.0×72.7cm



畑山太志 《時間はすべてのものに内包される》2022年 キャンバス、アクリル 227.3×363.6cm 撮影：上野則宏

2025年9月13日(土) - 10月6日(月) 会期中無休
10:00～18:00(入場は17:30まで)

横浜市民ギャラリー展示室1、B1 入場無料

主催：横浜市民ギャラリー（公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体）
助成：公益財団法人野村財団

◆関連イベント

・対談①「あいまいな物質、行為と観測」
9月15日(月・祝)14:00-15:30 松原茉莉×飯田竜太(美術家/彫刻家/ Nerhol)

・対談②「現実とは生まれかわる」
9月27日(土)14:00-15:30 畑山太志×沢山遼(美術批評家/武蔵野美術大学准教授)

・対談③「さわれない世界のさわりかた」
10月4日(土)14:00-15:30 早川祐太×伊藤亜紗(美学者)

・出品作家3名によるギャラリーツアー
9月13日(土)15:00-15:45 会場：展示室1、B1 参加無料

・学芸員によるギャラリートーク
9月20日(土)14:00-14:30 会場：展示室1、B1 参加無料

※対談①、②、③は会場 4F アトリエ、定員 先着50名、参加費 500円。
当日13時より展覧会場受付で整理券を配布

※詳細は当館ホームページをご覧ください。
※出品作家3名のインタビューを事前収録し、Webと会場で公開します。



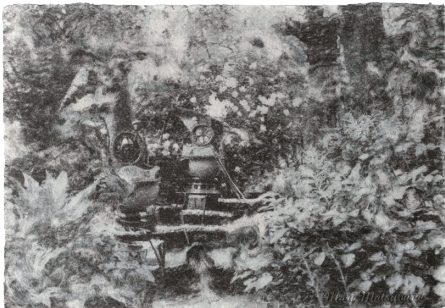
早川祐太 個展「ブラックホール」展示風景(2025年、HAGIWARA PROJECTS/東京) ©Yuta Hayakawa Courtesy of HAGIWARA PROJECTS Photo by Yuki Akaba



早川祐太 《i am you》2019年 石膏 35.0×35.0×30.0cm ©Yuta Hayakawa Courtesy of HAGIWARA PROJECTS Photo by Yuka Amano



松原茉莉 《視線_静物》2025年 水溶性紙にインクジェットプリント(フォトアブストラクティング)、木製パネル 112.0×291.0cm 「美性する写真の実体」(2025年、COPYCENTER GALLERY/東京) 展示風景



松原茉莉 《ノエマの保存箱_ピオトープの階段》2024年 水溶性紙にインクジェットプリント(AI写真生成、フォトアブストラクティング) 13.3×20.0cm

※掲載版図には参考作品が含まれます。

横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.33 中西夏之(なかにし・なつゆき)

中西夏之さん(1935-2016)は1960年代の前衛美術活動や舞踏家との協同を経て、1960年代後半から絵画に回帰し、いかに絵画が成立するかという根本的な問いを追求し続けました。1975年には横浜市民ギャラリーで開催された第11回今日の作家展「今日の静物_展」に出品しています。多くの作家に影響を与え、「新・今日の作家展2025」出品作家の畑山太志さんもインタビュー*のなかで中西さんの絵画について「光の筆触が画面全体を覆っているように感じ、身体まで届くような強烈な印象を抱きました」と語っています。《白・緑より白くーII》は、グレーを背景に白や黒の網目のような線が広がり、その上に鮮やかな黄緑が点在する、人の背丈より大きな作品です。中西さんはこれらの色を繰り返し作品に用い、宙吊りにした不安定なキャンバスに、2mほどの柄がある絵筆で描きました。そうして反復された線によって、興行きと緊張感のある画面が立ち現れています。



中西夏之 《白・緑より白くーII》1988年 油彩、カンヴァス 227.3x171.9cm 横浜美術館蔵

*「新・今日の作家展2025 穿ちの表象」小冊子および畑山太志インタビュー映像

予告 大人のための アトリエ講座 2025年度後期

クリエイティブな時間を過ごしたい方におすすめの講座

横浜市民ギャラリーでは、学生からシニア世代まで、幅広い年齢層の方々が、経験を問わずに創作活動やレクチャーを楽しむことができる「大人のためのアトリエ講座」を開講しています。ギャラリー最上階にあるアトリエにて、身近にアートを感じながら、さまざまなクリエイティブ体験が楽しめます。

◎手製本でつくる糸綴じのスケッチブック〈全1回〉

ヨーロッパで古くから受け継がれてきた“手製本”は、手作業の積み重ねによって紙の束を1冊の本に仕立てていく技術で、製本工芸とも言われます。この講座では、レクチャーで手製本の特徴や歴史について学んだ後、2種類の白い紙を自由に組み合わせ「フレンチリンクステッチ」という綴じ方で、ページがフラットに開くスケッチブックをつくります。※B6サイズ(128×182mm)、48ページのスケッチブックをー人1冊つくります。

12月21日(日)13:30～16:30

講師 本間あずさ(製本家)
定員 16名(抽選)
参加費 3,700円(材料費込)
受付期間 11月25日(火)必着



講師参考作品

予告 ハマキッズ・アートクラブ

子どものためのアトリエ講座

子どものためのアトリエ講座「ハマキッズ・アートクラブ」では、小学生以下の幼児・児童を対象に、造形を中心とする講座を年に10回開催しています。子どもたちに「自分で考える」「自分でできる」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験してもらい、アートを通じて大人になるために必要な自立心を育むことを目的とする講座です。

★トートバッグをつくろう

いろいろな色やかたちのスタンプを組み合わせ、オリジナルのトートバッグをつくります。

12月6日(土)10:30～12:00

講師 箱山朋美(横浜市民ギャラリーエデュケーター)
対象・定員 年少～年長児と保護者 15組(抽選)
参加費 ー組1,500円(材料費込)
受付期間 9月17日(水)～11月19日(水)



★声を描いてみよう

思いっきり大きな声、ひっそり声、たか～い声になが～い声。声の体操をして、いろいろな声を出してみよう!聴いてみよう!そして声を描いてみたらどうなるかな?

2026年1月25日(日)10:30～12:00

講師 扇谷一穂(ミュージシャン・アーティスト)
対象・定員 年中・年長児と保護者 15組(抽選)
参加費 ー組1,500円(材料費込)
受付期間 9月17日(水)～2026年1月8日(木)



★紙でどうぶつをつくろう

紙でおだんごをつくったら、張り子のように紙を貼って立体的などうぶつをつくろう。

2026年2月7日(土)13:30～15:30

講師 大竹美佳(造形作家)
対象・定員 小学1～3年生 25名(抽選)
参加費 1,500円(材料費込)
受付期間 9月17日(水)～2026年1月19日(月)



報告 横浜市こどもの美術展2025 今年も子どもたちの作品1,524点が一堂に並びました!

1965年に始まり今回で60周年を迎えた「横浜市民こどもの美術展」では、横浜市内在住・在学の12歳以下の子どもたちが描いた絵画を募集し、1,524点のご応募をいただきました。今年の夏も、当館1階から3階まで、3フロアの展示室が子どもたちの思いのこもった作品でいっぱいになりました!今年のテーマ「たからもの」部門には、物心がついた頃から大切にしているものや、家族や友達との思い出など、子どもたちにとってかけがえのないものを大切に描いた作品が集まりました。



photo: Ken KATO



こどものためのコレクション展「わくわくびじゅつ!」
「ききたがりお兄さん&お姉さんと話そう!」
「ききたがりお兄さん&お姉さんと話そう!」
コレクション展会場では学生インターンが活躍。「たのしい気持ちがあふれてきそう」など、作品を見て感じたことをお話ししました。



自由参加ワークショップ「キラキラばつをつくろう」 photo: Ken KATO
色の組み合わせを工夫したり、立体的なざりをつくりたり、子どもも大人も夢中になって取り組みました。



「コロナとたからさがし」
photo: Ken KATO
たからさがしカードを手がかりに、展示室に隠れた4つのコロナを探しながら、大切なものについて考えてもらいました。



ボランティアが運営をサポート
「上手にできたね!」という声かけで子どもたちは一層笑顔に。その姿がボランティアの皆さんのやりがいにつながりました。

「展覧会データ」横浜市民こどもの美術展2025

2025年7月18日(金)～27日(日)
全10日間 10:00～17:00
横浜市民ギャラリー 全室
出品作品: たからもの部門543点、自由テーマ部門981点=合計1,524点
入場者: 展覧会13,243名(うちワークショップ参加者数1,971名)、ボランティアのべ82名、インターンのべ12名
主催: 横浜市民ギャラリー
(公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)
後援: 横浜市民教育委員会
協賛: 学校法人 岩崎学園

ご利用ください《無料送迎車サービス》

JR 桜木町駅⇄横浜市民ギャラリーを巡回

桜木町駅東口タクシー降車場看板付近に送迎車が停車します。お身体の不自由な方・高齢者の方に配慮した送迎車サービスです(どなたでもご利用いただけます)。送迎車の定員: 9名(車いす1台を含む)



JR 桜木町駅東口タクシー降車場看板付近から出発 ※下記地図をご覧ください。

※状況により運休等場合があります。必ず運行状況を事前に公式ウェブサイトか電話等で確認の上、ご利用ください。

※原則第3月曜日、年末年始は休館のため運行がありません。また、展覧会のない日も全便運休です。

※皆様の安全を確保するため、大きなお荷物を携帯されている場合やシートベルトを正しく装着できない場合は乗車をお断りすることがあります。

※展覧会初日と最終日や展示室の利用時間によっては始発・最終発の時刻が変更となったり、運休する場合があります。

※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。

【送迎車時刻表】 JR 桜木町駅発	
9	45
10	00 20 40
11	00 20 40
12	00 20 40
13	00 20 40
14	00 20 40
15	00 20 40
16	00 20 40
17	00 20

横浜市民ギャラリー発

10	10 30 50
11	10 30 50
12	10 30 50
13	10 30 50
14	10 30 50
15	10 30 50
16	10 30 50
17	10 30 45
18	00



横浜市民ギャラリー 〒220-0031 横浜市民西区宮崎町26番地1

TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033

10:00～18:00 原則 毎月第3月曜日、年末年始休館

📍 https://www.facebook.com/ycag1964 ✂ @ycag1964 📷 @ycag1964



🚆 電車でのアクセス

JR・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上ります。

🚌 バスでのアクセス

市営バス103・292系統「戸部1丁目」「野毛坂」から徒歩2～4分/市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分/市営バス8・26・101・105・106系統、京急バス110系統、神奈川中央交通 横4・横44・港61系統「紅葉坂」から徒歩7分

🚗 送迎車サービス

桜木町駅東口タクシー降車場看板付近★に送迎車が停車します。運行スケジュールや定員等は当館ホームページをご覧ください。

P 駐車場

予約制・有料[駐車場専用TEL] 045-315-4440 ※1週間前から受付